

第4回江南市下水道事業経営戦略策定委員会 議事録（概要）

会議名 : 第4回江南市下水道事業経営戦略策定委員会

開催日時 : 令和2年6月2日（火） 午前10時～午前11時30分

場所 : 江南市役所 3階 第3委員会室

委員 : 出席委員7名（欠席0名）

横山 幸司（学識経験者）
奥村 真也（学識経験者）《オンライン》
浅野 敏夫（各種団体）《オンライン》
小川 隆史（各種団体）《オンライン》
柴田 喜充（各種団体）《オンライン》
大脇 勇（公募市民）《オンライン》
古田 みちよ（公募市民）《オンライン》

事務局 : 古田（水道部長）

伊藤（下水道課長）

吉本（下水道課主幹）

柴垣（下水道課計画工務グループリーダー）《オンライン》

青山（下水道課雨水排水グループリーダー）《オンライン》

大池（下水道課業務・経営グループリーダー）

平山（下水道課業務・経営グループ）《オンライン》

資料

資料1 投資・財政計画シミュレーション

資料2 下水道事業経営戦略総務省ひな形

議題

投資・財政計画シミュレーションについて

1. 開会

2. あいさつ

水道部長あいさつ

3. 議題

投資・財政計画シミュレーションについて

○会 長： 昨年度方向付けした整備方針に基づいて、財政・投資シミュレーションを検討していく。各委員の意見を踏まえて、次回以降の会議で経営戦略への掲載内容を考えていきたい。

○事務局： ～ 資料について説明 ～

○会 長： 今回は、新型コロナの関係でオンライン会議とさせていただいた。また、その影響もあり会議時間は概ね1時間程度としたい。順番に指名していくので、指名された委員から、意見や質問を頂戴したい。

本シミュレーションは4パターンを想定しており、どのパターンを最終的に選択していくのか、といったところが大きな目標になる。個人的には戦略案3で下水道使用料を段階的に引き上げていくというようなことが現実的だと考えている。

それでは皆さまのご意見をいただきたいので、順番に意見等をお願いします。

○委 員： 戦略案1は、スピード感があり黒字を実現するためには良い案だと思う。しかし、使用料単価を急激に上げることは適当ではないと考える。財政が豊かと推察される小牧市や一宮市の使用料単価は、現状いくら程度か。

○事務局： 小牧市は約99円、一宮市は約93円であり、その他近隣自治体である扶桑町は約108円、岩倉市は約90円である。ただしこれは現況の数値であり、近隣自治体も経営戦略を策定する中で料金改定を検討している。そのため、この数値が当面続くかどうかは不確定である。

- 委員： 使用料は段階的に上げていく戦略のほうがいいので、今回の4つのパターンの中から1つ選ぶのであれば、戦略案3がいいと考える。ただ、江南市が近隣自治体に先行して料金改定を決めていくことは少し考えていかなければいけないと思う。
- 委員： 本シミュレーションでは、費用面について言及がないが、住民に負担を強いるのであれば経費削減の前提がないと理解が得られないのではないか。その点はどう理解したらよいか。料金改定に伴い、費用の削減目標などの設定をしているのか知りたい。
- 事務局： 今回の資料には記載されていないが、水洗化率の向上、経費の削減などを加味したシミュレーションとなっている。住民説明をする際には、費用の削減内容についても示す必要があると考えている。
- 委員： シミュレーションの前提となっている市街化区域の整備について、令和5年度に終了する計画となっているが、完了する見込みか。
- 事務局： 一部の地域については、関係者と協議中であるため凍結状態となっているが、令和5年度に整備が全て完了するスケジュールとなっている。
- 委員： 下水道事業の収支改善を実施するためには、水洗化率を上げる必要があるため、凍結の地域についても課題を早期解決いただきたい。
- 委員： 先に発言された委員さんと少し重複するが、支出面についてコスト削減の努力に対する言及がないため、今後審議する際は適切に示してほしい。
- 事務局： 検討し、適宜対応する。
- 委員： 戦略案1は急激な改定率なので非常に厳しい。仮に戦略案3だとしても近隣と比較して決して安くない印象を受ける。料金改定により、下水道使用料が高い市という印象を与えてしまうのはマイナスではないか。また、計画目標を10年としてシミュレ

ーションしているが、この期間内で財務改善を図るのではなく、長期間で考えて、もっと緩やかに上げることはできないのか。

○事務局： 総務省が定める経営戦略策定ガイドラインでは、10年間で損益を黒字化することとなっている。現在は基準外繰入金で財源補填をしているが、総務省から早期の財務体質改善を求められている。長期間での改善も考えられるが、一般財源からの補填が必要となるため、下水道区域外の市民にも負担いただく状態が継続してしまう問題がある。

○委員： わかりました。もう一点、料金改定に向けて、他の市町村との連絡調整というのはあるのか。

○事務局： 具体的に調整することはないが、適宜連絡を取っている。収集した情報を用いて、料金改定の詳細を決めていきたいと考えている。

○委員： 江南市だけ突出して使用料が高くなる状況は少し心配なので、他の市町村との連絡調整をしながら決めていってほしい。

○委員： 段階的に改定することが望ましいと考える。そのため、戦略案2から検討を始め、段階的に検討する必要があると思う。

○事務局： 検討し、適宜対応する。

○会長： 多くの委員がおっしゃったように、戦略案3が現実的だと思う。しかし、まだ議論の余地があり、この委員会では理論上の結論は出すが、実際の料金改定は、今後、議会をはじめ様々な段階を経て決定されていくものである。次回の会議では、戦略案3の考え方を踏まえて経営戦略案を示してほしい。
他に何かあれば、ご意見等お願いします。

○委員： 江南市の下水道は、歴史が浅いことによる普及率や水洗化率の低さが、損益を悪化させる要因になっていると考えられる。健全な経営をするためには、他の市町村に比べて少し高めの単価にすることはやむを得ないことと思うが、そのことを利用者・市民・関係者の方にしっかりと説明して、理解をしてもらうことが非常に大切だと考える。

4. その他

今後の予定について

- 事務局： 次回は8月に開催を予定している。第5回目の委員会は、今回議論した内容を踏まえて経営戦略の案を作成し、お示しする予定である。

5. 閉会